

羅針盤



2018年1月26日(金) 第34号

＝ 1月のことば ＝

今起きていることはすべて、過去にあなたが行った選択の結果である。

(ディーバック・チョブラ (インド出身のアメカの医学博士))

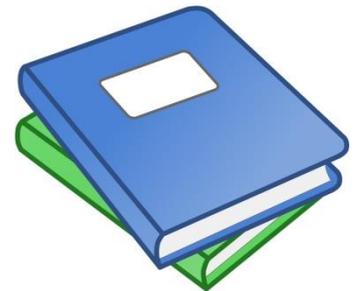
新年を迎え、自らを振り返り、未来を展望する (2)

～ 友人の『私の目標と決意』に学ぶ ～

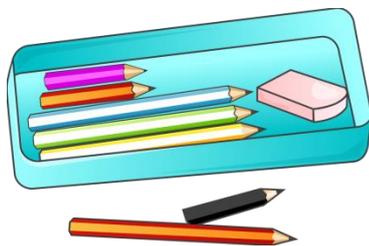
8組 大和田 太郎 君

僕は、この平成30年を充実した1年とするために、まず3つのテーマを決めました。「素直に、誠実に、愚直に」というものです。この3つのことを徹底すれば、ある程度自分の理想に近づけると思い、決めました。自分の気持ちや相手からの言葉などを素直に受け取り、誠実な行動や発言を心掛け、愚直に物事に取り組むことを今年のテーマにしたいと思います。

それを踏まえて、今年の目標です。1つ目は、学習面に関してですが、自分でも成績が思うように伸びていないことを自覚しています。当然、今年はいくらかでも成績を上げていくことが目標になりますが、そのためには自分の学習スタイルや意識を変えなくてはなりません。現在の僕は、課題をやったの思いで片づけることに精一杯で、とても自分に必要な内容をこなせていません。今日も課題が終わらず、一睡もしないで登校してきました。こんな生活じゃ成績が上向くはずがありません。しっかり自分の生活を見直し、自分がすべき学習をする時間を確保し、実行していきたいです。



2つ目の目標は、人望の厚い人間になることです。今年、これからクラス替えもあるし、後輩も入ってきます。様々な人との関わりが増える中で、周りのことをしっかり見ることができ、困っている人がいれば自ら率先して助けてあげられるような人になりたいと思っています。最初にあげた3つのテーマもしっかり行動に移し、心配りのできる人間になれば、おのずと人望は厚くなっていくだろう。そのためには、まず自分自身を見直して少しずつ自分を変えていけるようにしたいです。



大きく2つの目標を挙げましたが、この1年をよりよいものにしていけるかどうかは自分自身にかかっていると思います。だからこそ、自分をいい方向に転ばせることができるよう、一瞬たりとも無駄にせず自分に磨きをかけていきたいです。

【1期入試期間中の学校生活について】

- ◇ 1/31(水) : 45分4校時授業。13:20放課。14時以降は校地内にも残らない。
- ◇ 2/1(木) : 登校禁止 (自宅学習 : 指示された課題等に取り組むこと)
- ◇ 2/2(金) : 45分4校時授業。12:25放課。13時以降は校地内にも残らない。
- ◇ 2/3～4 : 南校舎は使用できません。それ以外の場所での部活動等は可能です。
- ◇ 2/5(月) : 45分4校時授業。12:25放課。13時以降は校地内にも残らない。

君たちの生きる未来

1月5日の全校集会で、進路指導部長の大河内先生が話されたことを覚えているだろうか。学者たちによる近未来予想と、そのことと密接に関係する人工知能AIについて話だった。具体的に、どのような近未来予想がされているのか見てみよう。

「子どもたちの65%は将来、今は存在していない職業に就く」と、キャシー・デビッドソン氏（ニューヨーク市立大学大学院センター教授）は予測している（2011年）。また、「今後10年～20年程度で半数近くの仕事が自動化される可能性が高い」と、マイケル・オズボーン氏（オックスフォード大学准教授）は予測している（2013年）。さらに、「2045年には人工知能が人類を越える“シンギュラリティ”に到達する」という指摘もある。

これを読んで、皆さんはどのような感想を持つだろう。人工知能AIを備えたロボットに任せて人間は楽ができるようになる、と考えるだろうか？ 人間の役割がAIに奪われてしまったら、どうやって生活するのだろう、という不安を抱くだろうか？

『鉄腕アトム』『火の鳥』『ブラックジャック』などの作品で知られる漫画家の手塚治虫さんは、著書『ガラスの地球を救え』（1989年）の中で次のように述べている。

これまでずいぶん未来社会をマンガに描いてきましたが、じつはたいへん迷惑していることがあります。というのはぼくの代表作と言われる『鉄腕アトム』が、未来の世界は技術革新によって繁栄し、幸福を生むというビジョンを掲げているように思われていることです。

「アトム」は、そんなテーマで描いたわけではありません。自然や人間性を置き忘れて、ひたすら進歩のみをめざして突っ走る科学技術が、どんなに深い亀裂や歪みを社会にもたらし、差別を生み、人間や生命あるものを無残に傷つけていくかをも描いたつもりです。

ロボット工学やバイオテクノロジーなど先端の科学技術が暴走すれば、どんなことになるか、幸せのための技術が人類滅亡の引き金ともなりかねない、いや現になりつつあることをテーマにしているのです。

…ぼくたちは間違った道に踏み込んできたのかもしれないが、あの罪のないたくさんの子どもたちを思うとき、とても人類の未来をあきらめて放棄することはできません。

君たちの生きる未来は、人間の存在意義、そして真価が問われる時代なのかもしれない。

1～2月	曜日	行事等	朝学習
27日	土	全統模試 (週末課題: 英語)	
28日	日		
29日	月	(40分授業日) ※課題・プログレス提出	数学
30日	火	(45分授業日)	英語
31日	水	午前中授業(午後立入禁止)	国語
2月1日	木	自宅学習(I期選抜)	
2日	金	午前中授業(午後立入禁止) 考查一週間前	
3日	土		
4日	日		
5日	月	午前中授業(午後立入禁止)	
6日	火		
7日	水		
8日	木		
9日	金	学年末考查(1日目)	
10日	土		
11日	日	「建国記念の日」	
12日	月		
13日	火	学年末考查(2日目)	
14日	水	学年末考查(3日目)	
15日	木	学年末考查(4日目)	
16日	金	(追考查)	数学

- ★I期入試のために学校に残れない、登校できない日があります。その期間を活用した課題もあるかと思います。計画的に取り組みましょう。
- ★I期入試期間中は、「ロッカーに教科書を忘れた」と言っても、校舎内には入れません。教科書等も含め、私物の整理・管理をしっかりと心掛けましょう。
- ★考查1週間前から原則的に部活動は禁止です。顧問の先生に確認してください。
- ★1学年の成績を決める最後の定期考查です。計画的で、しっかりと学習を心掛けましょう。